



MOTOROLA SOLUTIONS

Motorola Solutions ビジネス行動規範

「誠実に行動し、正しくビジネスを行うと、いざというときに必ず
最高の状態でいられる」

Greg Brown

グレッグ・ブラウンからのメッセージ

Motorola Solutions

の皆さん、私たちは、人々がいざというときに最高の状態でいられるお手伝いするという目的を持って、いつも仕事をしています。この目的を実現することは、お客様、パートナー、同僚、ひいては世界と共に、常に合法的、倫理的に行動することを意味します。Motorolaという名前は、長い間、誠実さと正しいビジネスの同義語として通ってきました。私たちが Motorola Solutions として共に前進するためには、会社の土台となっている高い倫理規定を順守し続ける必要があります。

当社の価値は、誠実と正しいビジネスに対するこの揺るぎないコミットメントの基盤の上に築かれています。その価値は次のようなものです。

革新的— 今日、明日、そしてその先の現実の課題に対して独自のソリューションを絶えず作り上げる。

情熱的— 活力と決意を持ってあらゆる課題に対応し、常に高い水準を追求する。

意欲的— 迅速、確実に機会をつかめるように、最重要事項に集中することで簡潔性を保つ。

責任を取る— 行い、仕事、行い、貢献、高いビジネス基準の維持を支援する。

パートナー— すべての個人を尊重し、同僚とお客様の貢献を同じように重んじることで、共に成功する。

これらは、言葉だけではなく、個人として組織としての私たちの支えとなる基準です。難しい決定に直面したときは、近道をしません。むしろ、革新的で情熱的で意欲的な責任あるパートナーとして、難局を切り抜けます。協力し、正しく対処することで私たちは成功します。

ビジネス環境が困難な場合もあるでしょう。疑問は必ず発生します。そのような疑問に答える際の助けとなるために、この規範、基になったポリシー、記載されている参考資料が存在します。私たち全員がこのすべてを理解し、順守することを期待します。

これらは、目的を遂行し、価値を実践するための重要な指針です。この規範に従って、誠実に行動し、正しくビジネスを行うと、いざというときに必ず最高の状態でいられるでしょう。

敬具

グレゴリー・Q・ブラウン
CEO、Motorola Solutions

目次

ビジネス行動規範

Motorola Solutions, Inc.

当社の基準およびこのビジネス行動規範について

- 目的と適用
- 責任と個人の責任
- 管理者のさらなる義務
 - 従業員の管理
 - ビジネス パートナーの管理
- 報復の禁止

問い合わせ

- 倫理指導の担当者
- ビジネス倫理チャンピオン (BCC)
- EthicsLine

利害衝突の回避

- 発生し得るすべての衝突に関する一般的な指針
- 副業
- 取締役会への所属
- 親族および個人的な人間関係
- 個人投資

行政機関への対応

- 政治的な活動
- 汚職防止法
- 円滑化のための支払い
- マネーロンダリングとテロ行為の防止
- 輸出入

ビジネス パートナーへの対応

贈答品、接待、旅行の取り扱い

- 贈答品
 - 贈答品の受領
 - 贈答品の提供
- 接待
 - 接待の受領
 - 接待の提供
- 旅行
 - 旅行の受領
 - 旅行の提供

当社の所有物の保護

- 機密情報
- 社外への情報公開
- Motorola Solutions の記録の正確性と生
- 会社を代表して行動する権限
- 通信文の記録と保管
- 監査と調査
- Motorola Solutions の資産
- 内部情報と証券取引

同僚への対応

- ハラスメント
- 安全と健康

顧客への対応

- 製品の品質と安全性
- 販売とマーケティング
- 顧客情報
- 政府関係の顧客

競合他社への対応

- 競合情報
- 公正な競争と独占禁止

地域社会への対応

- 地域社会への貢献
- 個人的な地域社会への貢献
- 環境

当社の基準およびこのビジネス行動規範について

目的と適用

Motorola Solutions には、きわめて高い倫理基準があります。
このビジネス行動規範では、同僚、顧客、株主、地域社会、行政当局、および他のビジネスパートナーとの接し方についての原則を規定します。
この規範に従うことで、当社の評判とブランドの完全性を維持することができます。

この規範および関連するポリシーでは、重要な問題を取り上げ、他の担当部署や参考資料を挙げて、ビジネスを正しく(合法的、倫理的、誠実) 行うための意思決定を導き出せるようにします。
この規範は、発生し得るあらゆる状況に対処した包括的なマニュアルや契約では決してありません。
この規範に短く記載されていることは、ポリシーに詳しく記載されています。

責務と個人の責任

Motorola Solutions の全従業員は、この規範、その他の該当する Motorola Solutions のポリシーと手順、および当社がビジネスを行っているすべての場所における適用法を規範を順守する責任を負います。
各人は、規定の記載事項と精神を理解しながら、個人が適切に判断することによって、この規範を順守する責任を負います。
非倫理的または違法な行動の兆候がないか気を付けます。そのような疑いがある場合は、必ず管理者、ビジネス倫理チャンピオン (Business Conduct Champion)、法務部、倫理コンプライアンス部、または EthicsLine に速やかに報告してください。
Motorola Solutions は、該当する懲戒方針と適用法に基づき、これらの規定に従わなかった従業員に対する是正措置を取ります。

管理者のさらなる義務

従業員の管理

管理者は、模範を示して指導することを求められています。
管理者は、個々の責任を遂行し、適切に判断することに加えて、誠実性の文化を促進し、ビジネスを正しく行うことを求められています。
管理者には、従業員が自分に求められていることを理解し、疑問点がある場合に管理者に気軽に指導を請うような、オープンかつ公正な双方向のコミュニケーションを推進する義務があります。

ビジネス パートナーの管理

Motorola Solutions のためにビジネスを行う場合、ビジネス パートナー (この規範の 13 ページに規定) は、当社の従業員と同じ行動規範を順守することが求められます。ビジネス パートナーを雇っているか、またはその責任を負う当社の従業員は、ビジネス パートナーが当社の代理として行動する場合にこの規範および当社のポリシーに従う義務があることを理解させる責任も負います。

報復の禁止

誠意から Motorola Solutions に違反または非倫理的な行動を報告した従業員に対する報復は、認められません。報復を受けたと思われる場合は、管理者、ビジネス倫理チャンピオン (Business Conduct Champion)、法務部、倫理コンプライアンス部 または EthicsLine に速やかに連絡してください。また、正しくないことを知りながらそれを報告することは認められていません。

聞いたことがありますか？

だれも気が付かないだろう。

上司は了承するだろう。

疑わしいが、証拠がない。

報告しても何も変わらない。

うちで処理できなくともパートナーが処理できるだろう。

一度ぐらいルールを守らなくても数字を上げればいいたろう。

会社のポリシーはわかっているが、今回はこうすべきだ。

正しい意思決定を行ってください。

自分が上記のいずれかを考え、言い、聞いた場合は、それらを止めて個人の責任において次の行動を取ってください。(1)

ビジネス行動規範および関連するポリシーを確認する。(2)

規定の存在に理由があること、規定が状況に適用されること、自分の意思決定が知られることを前提とする。(3)

自分の行動が最終的に会社または自分に害を及ぼす可能性を含め、自分の決定の結果を検査する。(4)

管理者、ビジネス倫理チャンピオン、法務部、倫理コンプライアンス部、または EthicsLine に助言を求める。(5)

この規範、会社のポリシー、および会社の価値観に従って適切な判断と行動を取る。

ビジネス上の必要性、現実または想定される上司からのプレッシャーは、法律、この規範、または会社のポリシーに違反する言い訳にはなりません。

問い合わせ

早期に助けを請うて、問題の発生や悪化を防ぐことは、常に良い対処方法です。

倫理的な指導の担当

- 管理者
- 倫理コンプライアンス部
- EthicsLine*
- 法務部
- ビジネス倫理チャンピオン (BCC)**

* EthicsLine には、週 7 日、1 日 24 時間、電話、電子メール、またはオンラインで問い合わせることができます。

匿名も選択できますが、すべての場合において機密は可能な限り保持されます。

電話やオンラインの問い合わせ時に割り当てられた極秘の識別番号を使用して、自分が問い合わせた懸念事項の進捗状況を追跡できます。

- オンラインで懸念事項を記録するには: [EthicsLine.mot-solutions.com](https://ethicsline.mot-solutions.com)
- 米国、カナダ、またはプエルトリコから電話するには: 800-5Ethics (800-538-4427)
- 国際電話するには: +1 847-576-1878 (オペレータに「コレクト」コールまたは「料金先方払い」を依頼してください)
エシックスラインでは 140 か国語以上で通話を利用できます。
- 電子メールを送付するには: <mailto:EthicsLine@motorolasolutions.com>
- Fax を送付するには: +1 847-761-1393
- 郵便の送付先
Motorola Solutions EthicsLine
P.O. Box 59263
Schaumburg, IL U.S.A. 60159-0263

**BCC は、事業部、地域、および各国の倫理コンプライアンス部を代表して選ばれた Motorola Solutions の従業員です。BCC は、倫理上の疑問点と懸念事項を取り扱う現地の担当者です。BCC は以下で確認できます。 ethics.mot-solutions.com

利害衝突の回避

発生し得るすべての衝突に関する一般的な指針

第三者(既存顧客または見込み客、競合他社、監督機関、Motorola Solutions のビジネス パートナーなど)との関わりが、Motorola Solutions を代表する独立した良識ある判断に影響を与えることがあってはなりません。

利害の衝突となり得る状況は、速やかに報告し、自分を関連する意思決定プロセスから除外する必要があります。疑わしい場合には、管理者、法務部、または倫理コンプライアンス部に、発生し得る利害の衝突を報告し、状況の変化に応じて最新情報を提供し続けます。

社外での就業

社外の活動は Motorola Solutions の業務と厳密に分離し、業務に悪影響を及ぼしてはなりません。上司の書面による事前の承認なしに、第三者(顧客、競合他社、監督機関、または Motorola Solutions のビジネス パートナーなど)のために働いたり、サービスに対する報酬を受け取ることはできません。Motorola Solutions で習得し、使用したスキルは、当社のビジネスに損害を与え得る方法で使用してはなりません。

取締役会への所属

取締役会、または社外の企業、組織、行政機関の類似する団体に活動することは、方針に準拠した事前承認を受ける必要があります。ただし、慈善団体や地域社会の組織の役員会で活動して地域社会を手助けすることは推奨され、利害の衝突が発生しない限り、事前の承認を必要としません。

親族および個人的な人間関係

親族や友人が Motorola Solutions の業務に関与する、またはその可能性がある場合は、関係の性質を速やかに報告し、関連する意思決定から自分を除外する必要があります。

個人投資

個人的な金融投資が、Motorola Solutions を代表する独立した判断に影響を及ぼすこと、またはその可能性があることがあってはなりません。このようなことはさまざまな方法で発生し得ますが、ビジネスに影響を与える可能性がある顧客、競合他社、またはビジネス パートナーに多額の投資を行った場合に最もよく発生するようです。投資に対する考え方に疑問がある場合は、できる限り早く管理者に報告してください。

資産または物を直接または間接的に購入すること、あるいは他の方法でその権利を取得することも、Motorola Solutions がその機会を求めていることが分かっており、その情状が公表されていない場合は、禁止されています。

Q: Motorola Solutions 外で個人的にビジネスに関与してもいいですか?

A: 承認される可能性があります。そのベンチャー ビジネスが Motorola Solutions と競争する、または競合会社に利益をもたらすと判断される場合、答えは通常「いいえ」になります。ただし、多くのベンチャー ビジネスが慎重な検討後に承認されています。管理者、法務部、または倫理コンプライアンス部の指導と承認を求めてください。

Q: 私は Motorola Solutions ビジネス パートナーの従業員として Motorola Solutions の仕事をしています。私は同じプロジェクトに参加していませんが、このことを報告する必要がありますか?

A: はい。同じプロジェクトに参加しているか否かに関係なく、このことは報告した方がよいでしょう。報告することで、あなたの配偶者の雇用主が Motorola Solutions ベンダーとして行った選択に、あなたが影響を与えたかもしれないという疑念を晴らすことができます。会社に対するあなたの忠誠が、個人の関係によって揺らいたり、影響を受けたり、影響を受けたと思われたりすることがあってはなりません。

行政機関への対応

当社のビジネスは、広範囲な法規に関して行政機関とやり取りすることに加えて、世界中に多数の政府関係の顧客を持っています。行政機関の担当者への対応には、特殊な難しさがあります。

行政機関への対応では、顧客であるか否かに関係なく、適用されるすべての法務および契約上の義務を知り、それに従うように特に注意を払う必要があります。

このような規定は通常、客観的な意思決定に悪影響を及ぼすと考えられる行動、たとえば、賄賂やリベート、または特定の贈答品、接待、旅行が関係する行動を禁止するか、厳しく制限しています。

多くの場合、現在または元の公務員、およびその家族の雇用にもこの規定は適用されます。

その他の多くの法務が、政府の請負業者および下請け業者に対する会計および請求業務を厳しく取り締まっています。

これらの法規は、世界中の従業員とビジネスパートナーに適用されます。Motorola Solutions が業務の遂行に使用するサプライヤまたは下請け業者もこれらの法規を順守する必要があり、当社が行政機関の独自の要件をサードパーティに伝える責任を負う場合もあります。適用されるポリシーを必ず確認してください。

政治的な活動

グローバル政府業務(Global Government Affairs) 部門の事前承認なしに、Motorola Solutions を代表して政治的な貢献を行ったり、当社の名前、資金、財産、機器、またはサービスを政党の支援、イニシアチブ、委員会、または候補者のために使用してはなりません。寄付もこれに該当します。ロビー活動や販売行為以外の行政機関との Motorola Solutions を代表した接触は、グローバル政府業務部門と調整して行ってください。

汚職防止法

当社は、当社がビジネスを行っている国の汚職防止協定および法規を順守しています。米国海外汚職行為防止法 (FCPA) や英国贈賄防止法 (Bribery Act) など、一部の腐敗防止法は、自国外の行為を規定しています。

当社は、政府が出資または管理する企業の従業員を含む、公務員への買収や不適切な支払いを直接的な間接かを問わず行いません。

当社は、政府以外の商取引においても買収や不適切な支払いを直接的な間接かを問わず行いません。

これらの要件は、ビジネスを行っている場所に関係なく、Motorola Solutions の従業員と、サードパーティ 販売担当者 (TPSR)、サービスプロバイダなどのエージェントの両方に適用されます。TPSR やサービス

プロバイダと関わる権限が与えられたら、該当するポリシーに従ってそのサードパーティが信頼できることを確認し、当社の腐敗防止基準に同意することを書面で求めてください。

円滑化のための支払い

Motorola Solutions

は、管理行為を円滑に処理するための「誘導的な支払い」や「賄賂」は、直接的であれ第三者を通じた間接的であれ禁止しています。そのような支払いが適用法で許可されている場合、法務および倫理コンプライアンス部は、きわめて限定的な状況において (個人の安全を確保するため、など) 例外を認める場合があります。例外は適切に記録する必要があります。

マネーロンダリングとテロ行為の防止

マネーロンダリングは、違法な資金源を隠して合法的な資金に見せるための行為です。Motorola Solutionsは、直接的であれ間接的であれそのような行為に関与することはありません。たとえば、当社の製品やサービスの購入が違法に取得した資金の偽装や、テロ行為の支援に使用される可能性があります。そのような状況に関わるのを避けるために、Motorola Solutionsは金融機関の関係者に適正評価を実施し、その評価を文書化する必要があります。

輸出入

製品、サービス、情報、または技術の輸出入時に、当社は米国のもを含む、適用されるすべての国内法、規制、および制限を順守します。海外出張時には、携行物を含め、輸出入品の法規に従います。関連する法規を知り、疑問がある場合には輸出入コンプライアンス管理者に確認する責任があります。

詳細については、以下を参照してください。 tradecompliance.mot-solutions.com

Q: 外国では文化を尊重するために「ビジネスの慣習」に従うのではないですか?

A: 必ずしもそうではありません。

行為が米国、現地国、および法務が適用される他の国の法規で合法であること、およびこの規範や当社のポリシーに違反しないことを確認する必要があります。支払いのような行為は、一般的な慣習であっても、合法的でない可能性があります。

ビジネス パートナーへの対応

当社は、当社の評判を損なう可能性がある当事者とはビジネスを行いません。ビジネス パートナーとのすべての契約は、Motorola Solutions の規範、ポリシー、および法律に準拠する必要があります。法律または Motorola Solutions ビジネス行動規範によって禁止されている行為をするために、ビジネス パートナーを利用することはできません。

当社が提携する「ビジネス パートナー」は、さまざまな名前では呼ばれています。この規範のこの条項で、ビジネス パートナーというのは、以下のカテゴリの 1 つまたは 2 つ以上を指します。

エージェントまたはコミッション エージェント
アライアンス パートナー
チャネル パートナー
コンソーシアム パートナー
コンサルタント
請負業者
ディーラー
ディストリビュータ
ファシリテータ
ファインダ
インフルエンサ
ジョイントベンチャー パートナー
ロビイスト
マーケティング サポート
プロモータ
販売店
小売業者
販売代理店
出向社員
サービス センター
サービス プロバイダ
下請け業者
サプライヤ
システム インテグレータ
ベンダー

ただし、最終的には、当社には当社のビジネスに関わる人が当社の基盤と矛盾しない基盤を持っていることを確認する責任があります。

ビジネス パートナーと関わる場合の規定

- 当社は、有効な適正評価を実行して提携相手のことを知る必要があります。
- 不適切な行為をするリスクの高い人は、当社の規定に従ってトレーニングを受ける必要があります。
- 購入は、Motorola Solutions にとって最も高いビジネス上の利益に基づいて行われ、事前に適切な検証承認を受ける必要があります。
- 当社が期待する事項および違反した場合の罰則の両方を契約書に記載して、取り交わします。
- すべての行為は、当社の規定、米国、現地、および他のすべての適用法（環境、雇用、安全、腐敗防止などの規定）に従う必要があります。

当社のポリシーに関する詳細な情報は、Motorola Solutions ポリシーポータル (my.mot-solutions.com/portal/site/policy) および ethics.mot-solutions.com を参照してください。

- 支払いや値引きは、適切で、正しく文書化されている必要があります。
- 当社はビジネスパートナーの行為を監視し、不審な行為に関する懸念事項を管理者や他の担当者に報告する責任を負います。
- サプライヤの価格情報など、極秘のまたは個人的な他社の情報は、当社の情報と同じように慎重に保護します。「機密情報」も参照してください。

当社のポリシーおよびサプライヤの行動規範 (motorolasolutions.com/suppliers) には、ビジネスパートナーとの関係に関する詳細な指針が記載されています。

Q: なぜビジネスパートナーの行為をこれほど心配するのですか。彼らにすべきことを伝えればいいのではないですか？
私たちはすべてを監視することはできません。

A: 当社の代理としてまたは当社のビジネスに関して行動するビジネスパートナーの不適切な行為は、私たち自身の取った行為と同じように、その責任が当社に課される可能性があります。公表された報告によると、大企業に対する政府による起訴の多くは、その企業のビジネスパートナーによる行為に基づいています。

直接的に関与していない場合でも、不適切な行為が当社の代理としてされることを防止するために、可能なこと(適正評価、監視、管理など)をすべて行ったということが重要になります。

贈答品、接待、旅行の取り扱い

いかなる形式でも、いかなる相手でも贈答、リポートを行ってはなりません。

贈答品

贈答品には、現金、寄付、融資、高価な品物(物品、サービス、景品など)が含まれます。この規範で「贈答品」というのは、ここに記載したカテゴリの1つまたは2つ以上を指します。

贈答品の受領

Motorola Solutions を代表する判断力を損なわせるような贈答品を請い求めたり、受け取ることはできません。他社の名前が付いた小さな販促品など、小額の品物を受け取ることはできますが、リポート、高額な贈り物、謝状を受け取ることはできません。

当社での特定の地位に在るために提供される、特別なサービス、景品、または個人ローンの利率割引を受けることもできません。

まれに、贈答品を拒絶したり返したりすることが実務的ではなく、ビジネスの関心に害を及ぼすことがあります。このような場合は、倫理コンプライアンス部または法務部に状況を話してください。

贈答品の提供

ビジネスの状況によっては、贈答品をする必要がある場合があります。

贈答品をする習慣は文化によって異なるため、当社の現地の贈答品に関するポリシーとガイドラインはこのような違いに対応していません。ただし、どのような場合でも、当社の贈答品は合法的で妥当なものであり、管理者の承認を受けたものでなければなりません。いかなる形式でもいかなる相手でも、贈答を支払ったり贈ったりしてはなりません。

法律または受領者の組織のポリシーによって贈答品が禁止されている場合、贈答品を提供することはできません。たとえば、世界の多くの政府機関では、職員による贈答品の受領を禁止しています。判断がむずかしい場合は、まず倫理コンプライアンス部または法務部に確認してください。

接待

贈答品とは異なり、接待は双方が参加するイベントとして定義されています。

接待の受領

ビジネスの状況において妥当で適切であり、当社の利益を促進する場合、接待を受けることができます。たとえば、地域文化やスポーツのイベント、または会食でビジネスの関係者に同行することは、ほとんどの場合認められます。しかし、接待が高額や頻繁な場合は、Motorola Solutions の代表としての独立した判断に影響すると見なされる場合があります。不適切と見なされる可能性がある接待を受けるかどうかを判断する前に、管理者と話し合ってください。

接待の提供

ビジネスの状況において妥当で適切な接待は、提供することができます。接待の提供が適切かどうか、または特定の種類の接待について疑問点がある場合は、事前に上司と話し合ってください。

公務員の接待については、法律によって禁止されている場合があります。個々に管理者の事前承認を必要とします。管理者は、倫理コンプライアンス部または法務部に問い合わせてください。

Q: それでは、双方が出席する場合、通常のビジネス デイナーを提供する、または受けることは許されるのですか? ゴルフを 1、2 ラウンドすることはどうでしょうか?

A: イベントが現地で行われ、妥当な価格で、あまり頻繁でない限りは許可されます。念のために、管理者に前もって伝えてください。

Q: お客様は訪問時に私が贈答品を持ってくと期待しています。そのことは許可されていますか?

A:
まず、贈答品を受け取ることがお客様の規定で禁止されていないことを確認してから、その他のあらゆる状況を確認してください。たとえば、お客様が別の大きなプロジェクトを決定しようとしている場合、贈答品をするのに適した時期ではないかもしれません。意思決定に不適切な影響を与えると見なされる可能性があるからです。あなたが説明すれば、お客様は理解し、慎重に対処したことを尊重するでしょう。その他の状況では、特定の個人ではなくお客様の組織に対して、控えめな贈答品を渡してもよいでしょう。お客様が公務員である場合は、特別な確認が必要です。現地の贈答品と接待に関するポリシーを確認してください。

旅行

旅行の受領

旅行がビジネスを目的としており、豪華ではなく、管理者による事前の承認を受けている場合は、Motorola Solutions ビジネス パートナー、顧客、または他の第三者から提供される交通費と宿泊費を受け取ることができます。

旅行の提供

法律または受領者の組織のポリシーによって禁止されていない限り、合法的なビジネスを目的としており、ビジネスの状況において妥当で適切であり、管理者による承認を受けている場合、Motorola Solutions は顧客またはビジネス パートナーの交通費と宿泊費を支払うことができます。

公務員に対するすべての交通費と宿泊費について、Motorola Solutions がスポンサーとなるか、または支払う場合、ポリシーに従って事前に書面で承認を受ける必要があります。

Q: サプライヤが私に、施設を訪問して、そこで現地のスポーツ イベントに参加するように求めています。サプライヤはこの費用の支払いを申し出ており、私たちの予算では足りません。行くことができますか?

A:
管理者と相談し、その管理者がビジネスにとって良い機会だと考え、また豪華な接待が含まれていない場合には、受けることができますでしょう。

当社の所有物の保護

機密および専有の情報

機密および専有の情報は、当社のビジネスの原動力です。これには、一般には知られていない情報や、Motorola Solutions にとって有益であるか、または競合他社にとって有益な可能性がある情報が含まれます。また、顧客とビジネス パートナーが当社に預けた情報も含まれています。

例としては次のようなものが挙げられますがこれらに限定されません。取引上の秘密、発明、財務内容および予測、ビジネスの計画または戦略、現在のプロジェクト、将来または未発売の製品（試作品）、従業員に関する情報、顧客リスト、商品および製品の売上高。

このような情報は公になると、当社のビジネスの利害関係を大きく損ない、当社の最終利益に影響を与え、私たち自身および Motorola Solutions の両方に対する法務上のリスクが発生する可能性があります。

機密情報は、適切に分類し、安全に保管し、仕事のために知る必要がある人だけが利用できるようにして、保護する必要があります。また、顧客、株主、噂に関して意見を述べることはしません。

詳細については、以下を参照してください。 iProtect.mot-solutions.com

社外への情報公開

機密および専有の情報を公開しないという義務が適用されるのは、従来の職場から外部に広がっています。ソーシャル ネットワーキングやその他の種類の電子メディア、会議やシンポジウム、コンサルティングの機会、業界のイベントなどです。この義務は、雇用関係の終了後も継続します。

機密情報を第三者に開示する際には、事前に守秘義務契約 (NDA) などの書面による契約を締結する必要があります。開示する情報を適切に分類する必要もあります。NDA については、法務部に問い合わせてください。

当社は、公正で正確な、タイムリで分かりやすい情報を公開するように努めています。メディアからのすべての要望は、Global Communications に転送する必要があります。投資分析を含む、金融界からのすべての要望は、Investor Relations に転送する必要があります。どちらの場合も直接回答しないでください。

詳細については、以下を参照してください。 motorolasolutions.com/mediacenter または motorolasolutions.com/investors

[ソーシャル ネットワーキングに関するポリシー](#)も参照してください。

Motorola Solutions の記録の正確性

すべての帳簿、記録、および勘定科目は、義務付けられている会計原則および当社の内部監査制度の両方に確実に従っている必要があります。帳簿、記録、および勘定科目には、誤った、誤謬を招く、または偽の記帳をしないでください。これには、あらゆる財務上の記録の他に、品質、安全性、および人事記録などのデータが含まれます。

たとえば、署名権限の限度を回避するためや承認プロセスを迅速化するために発注書を分割しないでください。取引の真の性質を隠したり、偽装したりするために記帳することはできません。

会社を代表して行動する権限

私たちは、それぞれ Motorola Solutions を代表して行動するために権限の限度を守る必要があり、この権限を超過したり回避したりする行為を行ってはなりません。権限を与えられている従業員のみが Motorola Solutions を代表して文書に署名したり、その他の方法で代表する権限を表したり、行使することができます。また、すべての購買は適切に検証され、ベンダーが関与する前に承認される必要があります。

[当社のポリシーに関する詳細な情報は、Motorola Solutions ポリシー ポータル \(\[my.mot-solutions.com/portal/site/policy\]\(http://my.mot-solutions.com/portal/site/policy\)\) および \[ethics.mot-solutions.com\]\(http://ethics.mot-solutions.com\) を参照してください。](#) 17

通言文の記録 保管

当社のビジネスの記録および通言文は、明確、真実、正確でなければなりません。誇張、飾り立てた言葉、推測、法務上の結論、中傷、または個人と企業の特長評価は避けてください。このことは、電子メール、通知、メモなど、あらゆる種類の通言文に当てはまります。記録の保管と破棄は、当社の記録の保管および法的特許保有のポリシーに準拠する必要があります。

詳細については、以下を参照してください。 records.mot-solutions.com

監査と調査

Motorola Solutions、政府機関、および規制当局の求めに応じたすべての監査と調査には、全面的に協力する必要があります。提供するすべての情報は、真実、正確、および不備がないものでなければなりません。文書や記録を隠蔽、変更、または破棄したり、その他の方法で内部および外部の調査や他の合法的な要求を妨げてはなりません。

社外から非定期の監査、調査、またはその他の情報求められた場合は、返答する前に法務部に問い合わせてください。

Motorola Solutions の資産

私たちは、委託されている Motorola Solutions の資産を喪失、損傷、誤用、または盗難から保護する責任があります。資金、クレジット

カード、試作品、システム、製品、機器などの資産は、ビジネスの用途、および管理者によって承認されたその他の用途のみ使用できます。Motorola Solutions の資産を法規や会社の方針に違反する用途で使用しないでください。

会社の資産を使用して、他の人を不快にする可能性があるコンテンツを作成、保存、または送付しないでください。また、会社の資産の盗難、喪失、誤用は、直ちに損失の防止とセキュリティの部門の担当者または EthicsLine に報告する責任があります。

Q: デモ製品、古い機器、スクラップ商品など Motorola Solutions の機器を個人用に使用してもよいですか?

A: それはできません。商品は、販売されなくなっても Motorola Solutions の財産のままです。

内部情報と証券取引

内部情報に基づいて投資を決定する可能性がある人と取引をしたり、その人に内部情報を知らせることは、米国を含む、多数の国の法律に違反します。情報が公開されていない限り、仕事の一環として知った重要な非公開情報（「内部情報」と呼びます）に基づいて有価証券を取引しないでください。

たとえば、内部情報を使用して Motorola Solutions

の株式やオプション、またはサプライヤーや顧客のいずれかの株式やオプションを売買することは禁止されています。

友人、親族、またはビジネス上の知人との内部情報共有の場合も、たとえば、外部パートナーが適切な機密保持契約に署名しているなど、その人が情報を受取る権限を特別に持っていない限り、厳しく禁止されています。

同僚への対応

Motorola Solutions では、自分がそうされたいと望むように常にお互いを尊重します。

当社は、世界中の個性豊かな個人の相違点を高く評価しています。

雇用の決定は、資格、才能、成果など、ビジネス上の理由に基づいており、現地および国の雇用に関する法律に準拠しています。

ハラスメント

虐待、嫌がらせ、または不快感は、言葉、暴力、または視覚的なもののいずれでも禁止されています。

例として、性別、人種、民族に関する中傷、歓迎されない性的誘惑などがあります。

同僚が自分や他の人を不快にした場合に非難し、ハラスメントが発生した場合に報告することは推奨されています。

脅しまたは暴力や身体的脅迫の行為は禁止されています。

各国の人事ポリシーには、現地の法律に準拠した、ハラスメントに関する詳細な指針が記載されています。

当社の人権に関するポリシーも参照してください。

詳細については、以下を参照してください。 my.mot-solutions.com/myhr

安全と健康

私たちは、会社が定めた安全と健康の方針および手順に従って、全員が安全な職場を維持する責任を負っています。 Motorola Solutions は、職場から危険をなくすための適切な方針と手順を設定しています。

事故や怪我、安全でない機器、慣習、または状態は、上司またはその他の担当者に直ちに報告してください。

詳細については、以下を参照してください。 motorolasolutions.com/environment

顧客への対応

製品の品質と安全性

当社は、品質プロセスと安全の要件に従うことで、価値ある評価を維持しています。Motorola Solutionsの規格を満たさない製品を出荷したり、サービスを提供することはありません。万一品質について懸念がある場合は、管理者または法務部に報告してください。

販売とマーケティング

当社は、公正と誠実を示すことで、顧客と長期的な関係を築いています。当社のマーケティングと広告は、正確かつ真実でなければなりません。誤解を招くメッセージを出したり、重要な事実を省いたり、競合他社製品に対して誤ったことを述べることは、受け入れられません。

当社は、ビジネスを合法的、倫理的に獲得します。贈答やリボートの授受は、ほとんどの国で認められておらず、違法です。顧客からの贈答品、旅行、接待は財律各解釈され、利害関係の衝突を発生させる可能性があるため、この規範の「贈答品、接待、旅行の取り扱い」と「行政機関への対応」に詳細に記載されています。

顧客情報

当社は、機密のまたは個人的な顧客情報を、当社の情報と同じように慎重に保護し、適用されるすべてのデータ保護とプライバシーの法律を順守します（「機密および専有の情報」も参照してください）。

政府関係の顧客

この規範の「行政機関への対応」を参照してください。

Q: お客様は常に正しいわけではありませんか？

A: お客様が当社に非倫理的または不適切なことを求めている場合は正しくありません。助けを借りて、基準や法律に違反せずにお客様のニーズを満たす解決策を見つけてください。

競合他社への対応

競合情報

専有情報を盗用すること、所有者の同意なしに取得した取引上の秘密情報を保持すること、および他社の過去または現在の従業員がそのような情報公開の圧力をかけることは、禁止されています。

違法または非倫理的な方法では、競合他社の情報（「ビジネス インテリジェンス」とも呼ばれます）を収集しません。他社の取引上の秘密や極秘情報が構成される情報を誤って取得した場合、または情報収集の合法性に疑いがある場合、法務部に問い合わせてください。

Q: 面接した応募者が作文のサンプルをくれました。その文書には共有すべきではないと思われる情報が書かれていました。どうすればよいのでしょうか？

A: まず、文書をこれ以上共有しないでください。情報の返却に関して、知財権の弁護士から助言を得てください。

公正な競争と独占禁止

Motorola Solutions

とその全従業員は、ビジネスを行っている多くの国の独占禁止法と不当競争の法律に準拠する必要があります。これらの法律は複雑であり、国によって大きく異なっています。

一般的に、これらの法律は次のようなことを禁止しています。

- 顧客に害を及ぼすこと（価格の据え置き、不正入札、顧客や請負業者の獲得競争をしないという合意など）を競合他社と合意すること。
- 製品、サービス、または技術を販売するために、それが適切と思われる場合でも再販業者、顧客、またはサプライヤの自由を不当に制限することに合意すること（製品やサービスの再販価格の設定、あるいはその他または Motorola Solutions だけの製品とサービスを購入することを合意したうえで製品、技術、またはサービスの販売条件を不適切に設定すること）。
- 独占を試みること。たとえば、市場での優位な地位を不公正に悪用して他社の競争を妨害すること。

行為が競合に関する法律に違反するかどうか心配な場合は、法務部、倫理コンプライアンス部、または EthicsLine に問い合わせてください。

地域社会への対応

地域社会への貢献

当社は、生活を向上させる製品とサービスを公正な価格で提供すること、および営業地域の社会を積極的に支援することの両方で、社会に貢献しています。Motorola Solutions、The Motorola Foundation、および世界中の従業員は、数千もの価値ある地域社会プログラムに多額の金銭的支援とボランティアを提供しています。

個人的な地域社会への貢献

地域社会、慈善団体、および政治組織を支援することはできますが、個人的な意見や行為を Motorola Solutions を代表したものとしてはなりません。また、社外の行為が業務の妨げになってはなりません。

Motorola Solutions

では、特定の信念の表明、寄付、政治的、宗教的、または慈善の目的の支援を誰に対しても強押ししてはなりません。

環境

当社は、環境を保護し、世界の天然資源を持続的に使用できる方法でビジネスを営んでいます。当社は、業務を行っているすべての国の適用可能なすべての環境法に準拠することで、環境に配慮しています。

詳細については、以下を参照してください。 motorolasolutions.com/environment